

平成30年度環境保全報告書

株式会社 神戸新聞会館

① 2018年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 省エネルギーの推進

ミント神戸（神戸新聞会館ビル）は、設計段階で省エネルギーを考慮し建設された建物でもあり、省エネ機器導入など様々な視野から積極的に省エネルギーへの取組みも実施されており、効率の良い設備運営が実施されております。

第1表 エネルギーの使用の合理化に関する設備及びエネルギーを消費する主要な設備の概要、稼働状況及び新設、改造又は撤去の状況。

	設備の名称	設備の概要	稼働状況	新設、改造又は、撤去の状況
エネルギーを消費する主要な設備	ガス吸収式給湯水発生器	630RT×1台 230RT×1台	180日 11～14h/F	
	ターボ冷凍機	600RT×1台	180日 10h/F	
	製氷ヒートポンプチャラー	12CHP×4台	365日 10h/F	
	空調設備	70.9kw（9台）	365日 11～18h/日	
	給排気設備	217kw（113台）	365日	
	全熱交換器	40.9kw（5台）	366日 11～16h/日	
	パッケージエアコン	78.8kw（25台）	365日	

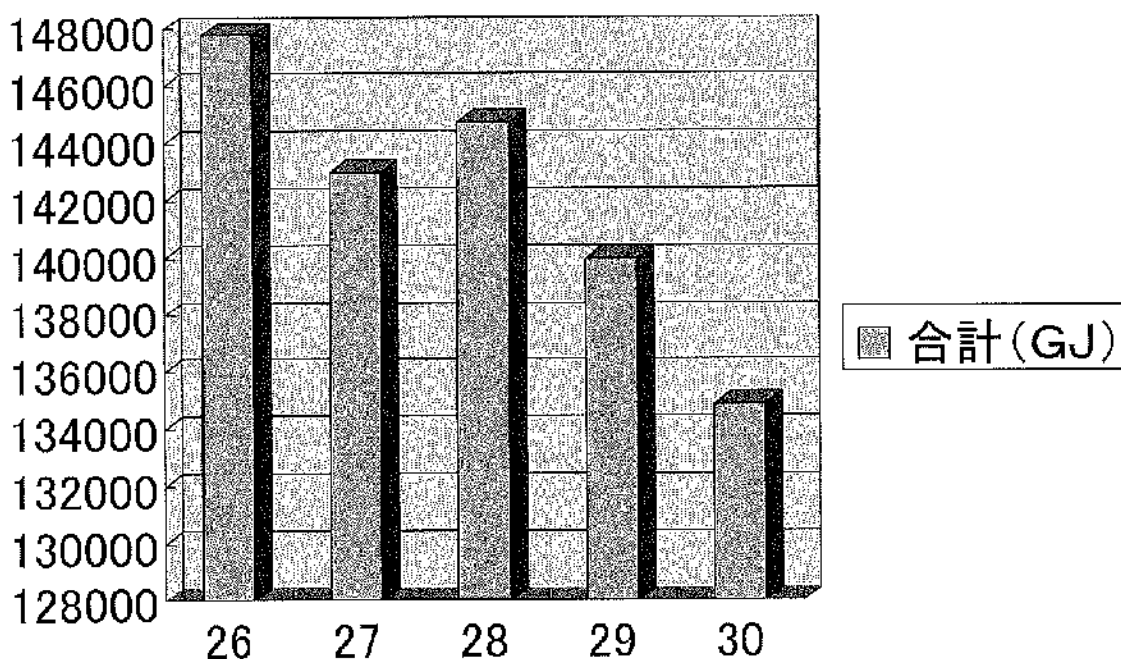
第2表 事業者のエネルギーの使用量及び販売した副生エネルギーの量

エネルギーの種類		単位	平成29年度			
			使用量		販売した副生エネルギー量	
			数値	熱量GJ	数値	熱量GJ
燃料及び熱	△重油	k l	0	9		
	その他の燃料	都市ガス	千m ³	257	11,565	
	小計	G J		11,574		
電気	電気事業者	昼間買電	千kWh	11,048	110,149	
		夏期・冬季における電気需要平準化時間帯	千kWh	(6,570)	(65,503)	
		夜間買電	千kWh	1,415	13,131	
	その他	上記以外の買電	千kWh			
		自家発電	千kWh			
小計	千kW h/GJ		12,463	123,280		

合計GJ	134,854		
原油換算k1	3,479		
前年度原油換算k1	3,612		
対前年比(%)	96.3		

第3表 事業者の過去5年間に使用したエネルギーの量

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合計(GJ)	147,799	142,969	144,766	140,001	134,854
原油換算(k1)	3,813	3,689	3,735	3,612	3,479
対前年度比(%)		96.7	101.2	96.7	96.3



イ. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

CO₂排出量について、エネルギー使用量を削減する事での、排出量削減、排出原単位の低減に努めています。当社では、CO₂排出量を『事業者の過去5年間のエネルギーの使用に係る原単位が年平均1%以上の改善』を目標に取り組んでおります。

第4表 事業者の過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位の変化状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	5年度間平均原単位変化
エネルギーの使用に係る原単位	0.4164	0.4060	0.4122	0.3987	0.3845	
対前年比(%)		97.5	101.5	96.7	96.4	98.0

平成30年度は前年対比で96.4%と改善が行えた。又、5年度間平均原単位についても98.0%と目標とする『事業者の過去5年間のエネルギーの使用に係る原単位が年平均1%』

以上の改善』改善が行えた。

本年度は大規模リニューアル改修工事があり改装店舗が多数あった為電気使用量の減少となっております。

ウ. 廃棄物の減量【産業廃棄物の減量計画】

別添付資料「事業系一般廃棄物に係る減量等計画書」参照

事業系一般廃棄物に係る減量等計画書

2019年6月13日

神戸市長 宛

提出(所有者) 住所 神戸市中央区雲井通7丁目1-1

氏名 織戸 新

(法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

指定建築物の所有者として、神戸市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例第30条第1項の規定に基づき本計画書を提出します。



指 定 建 築 物 概 要	名 称	指定建築物コード # 3 8 8 0 - 0 0				受 付 年 月 日			
		神戸新聞会館 (ミント神戸)							
	所 在 地	〒 651-0096 神戸市中央区雲井通7丁目1-1							
	延 べ 床 面 積	41,337 m ²	占 有 者 名	テナント					
	階 数	地上 18 階/地下 2 階	完 成 年 月	2006 年 10 月					
	就 業 人 員	1,600 人	1日平均の利用人数	2,000 人					
	建築物の主たる用途 (コード表1による番号を記入)	用途の区分	賃借している 会社等の数	延べ床面積	保 管 場 所 等			廃棄物	資源物
	〔 枝番 〕 —	日本標準産業分類番号	社	m ²				(1) 40 m ²	(1) 27 m ²
	※建築物の用途が「1-2」「10」の場合、 右表に用途別の賃借している会社の数、 延べ床面積及び日本標準産業分類番号を 大中小分類まで記入ください。 上記以外の場合は最上位に日本標準産業 分類番号を大中小分類まで記入ください。		社	m ²				(2) m ²	(2) m ²
			社	m ²				(3) m ²	(3) m ²
		社	m ²		(4) m ²			(4) m ²	
		社	m ²		合計 40 m ²	合計 27 m ²			
廃棄物管理責任者の 氏名及び連絡先	(氏名) ビル管理本部 原田 豪介	(連絡先) 会社名 株式会社 神戸新聞会館 所属 ビル管理本部 電話番号 078-265-3500 FAX 078-265 3502							

備考

- この計画書は、本人又はその代理人が記入するものである。
- 個人が提出をする場合において、当該本人が自署するときは、押印は不要である。
- この計画書は、事業系一般廃棄物についての減量等計画を記載するものである。
- この様式において「指定建築物コード」とは、神戸市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する規則第26条第3項の規定に基づいて市長が届出(所有者)者に通知した番号をいう。
- 建築物の主たる用途の欄には、市長が別に定めるコード番号(建築物の用途の区分に応じて付される番号をいう。)を記入すること。
- この様式において「日本標準産業分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準として定められた日本標準産業分類において分類のために用いられている番号をいう。
- この様式において「資源物」とは、資源として再生利用することができるものをいう。
- 廃棄物の減量資源化策の欄には、市長が別に定めるコード番号(廃棄物の減量資源化策の区分に応じて付される番号をいう。)を記入すること。
- 自動販売機の筐には、指定建築物の内部に設置された容器入り飲料を販売するものについてのみ、設置台数等を記入すること。
- 販売する容器入り飲料の容器の種類欄には、市長が別に定めるコード番号(容器の種類区分に応じて付される番号をいう。)を記入すること。
- 回収した空き容器の処理の方法の欄には、市長が別に定めるコード番号(空き容器の処理の方法の区分に応じて付される番号をいう。)を記入すること。
- この様式において「年度」とは、4月1日から翌年3月31日までをいう。
- この様式において「OM紙」とは、コンピュータ連続用紙及びビニール用紙をいう。
- 廃棄物の収集業者名等の記入及び廃棄する者の収集業者名等の欄には、市長が別に定めるコード番号(一般廃棄物処理業者の区分に応じて付される番号(一般廃棄物処理業者が廃棄物の収集若しくは運搬又は処分を委託を行わない場合にあっては、廃棄物の処理の方法の区分に応じて付される番号)をいう。)を記入すること。

※当該計画書の控えを必要とする場合は、郵送の場合①計画書原本との原本のコピー(2部)と②返信用封筒(要切手添付)を同封の上提出してください。→②原本のコピー(2部)に受付印を押印の上、③返信用封筒(要切手添付)にて返送します。持参の場合は①と②を提出してください。→②に受付印を押印の上返送します。

廃棄物の減量資源化策	現在減量のために実施していること。 (コード表2による番号を記入)		新たに減量のために計画していること。 (コード表2による番号を記入)		古紙利用製品の購入量 (前年度実績)		
	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7		13		種類	全体の購入量	古紙利用製品の購入量
	※「14」のその他の場合、実施策を記入ください。 ※「14」のその他の場合、計画策を記入ください。				OA紙	kg	kg
					トイレットペーパー	19592 kg	kg
自動販売機	設置台数	回収設備の台数	販売する容器入り飲料の容器の種類 (コード表3による番号を記入)	回収した空き容器の処理の方法 (コード表4による番号を記入)	OA紙及びトイレットペーパー以外の紙	kg	kg
	22 台	15 台	1. 2. 3. 4. 5	1. 2	(参考) ・コピー用紙(A4)は、1包当たり約2kg ・トイレットペーパーは、1巻当たり約300g		

産業廃棄物は記入しないでください

処理の方法		前年度実績							
		発 生 量 (A) (A=B+C)	廃棄に関する項目			資源化に関する項目			
種 類		廃棄した量 (B)	廃棄した物の 回収業者名 (コード表5による番号を記入)	廃棄した物 (B)の持込先	資源化した量 (C)	資源化率 (C/A)	資源化した物 (C)の回収業者名	資源化した物 (C)の持込先	
紙	(1)OA紙	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
	(2)新聞	1,240 kg/年	kg/年	[]		1,240 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(3)雑誌	14,000 kg/年	kg/年	[]		14,000 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(4)段ボール	211,505 kg/年	kg/年	[]		211,505 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(5)機密文書	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
	(6)①から⑥まで以外の紙	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
(7)生ごみ	717,121 kg/年	717,121 kg/年	[1]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
(8)可燃ごみ	160,693 kg/年	160,693 kg/年	[1]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
資源ごみ	(9)缶	11,697 kg/年	kg/年	[]		11,697 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
	(10)びん	2,807 kg/年	kg/年	[]		2,807 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
	(11)ペットボトル	6,551 kg/年	kg/年	[]		6,551 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
(12)粗大ごみ	15,351 kg/年	15,351 kg/年	[1]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
(13)不燃ごみ	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%			
(14)その他	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%			
合 計		1,140,964 kg/年	893,164 kg/年			247,800 kg/年	22 %		

前年度提出の[当年度計画]と上段に記入の[前年度実績]を比較し、その所見を下記に記入してください。

処理の方法		当年度計画							
		発 生 量 (a) (a=b+c)	廃棄に関する項目			資源化に関する項目			
種 類		廃棄する量 (b)	廃棄する物の 回収業者名 (コード表5による番号を記入)	廃棄する物 (b)の持込先	資源化する量 (c)	資源化率 (c/a)	資源化する物 (c)の回収業者名	資源化する物 (c)の持込先	
紙	(1)OA紙	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
	(2)新聞	1,200 kg/年	kg/年	[]		1,200 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(3)雑誌	13,000 kg/年	kg/年	[]		13,000 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(4)段ボール	211,000 kg/年	kg/年	[]		211,000 kg/年	100 %	石原アメニテック	上野紙料
	(5)機密文書	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
	(6)①から⑥まで以外の紙	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%		
(7)生ごみ	691,000 kg/年	691,000 kg/年	[1]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
(8)可燃ごみ	164,000 kg/年	164,000 kg/年	[1]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
資源ごみ	(9)缶	10,000 kg/年	kg/年	[]		10,000 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
	(10)びん	2,000 kg/年	kg/年	[]		2,000 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
	(11)ペットボトル	5,500 kg/年	kg/年	[]		5,500 kg/年	100 %	石原アメニテック	資源化リサイクルセンター
(12)粗大ごみ	15,000 kg/年	15,000 kg/年	[]	徳島クリーンセンター	kg/年	%			
(13)不燃ごみ	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%			
(14)その他	kg/年	kg/年	[]		kg/年	%			
合 計		1,102,700 kg/年	860,000 kg/年			242,700 kg/年	22 %		

2019 年度環境保全計画書

株式会社 神戸新聞会館

① 環境保全に関する基本方針(基本理念)

当社、株式会社神戸新聞会館は、全従業員が「現在及び将来の神戸市民の健全で快適な環境を確保する為」省資源、省エネルギーが可能となるよう、原料の調達段階から環境への配慮に努めていきます。

1 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にするよう努め、環境の保全に取り組みます。

- ① 二酸化炭素の削減対策。
- ② 二酸化炭素以外の温室効果ガスの削減対策。
- ③ その他、地球温暖化防止に寄与する対策。

2 その他環境保全活動

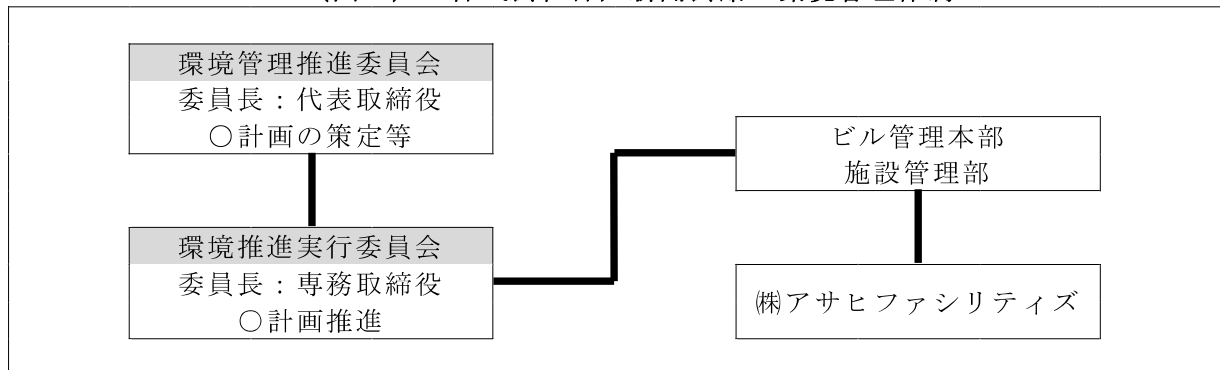
- ① 事務所等での節電・節水。
- ② ペーパーレスの推進。
- ③ 廃棄物の適正処理と減量。

3 この方針を全従業員に周知徹底するとともに広く公開し、適切な情報提供に努めます。

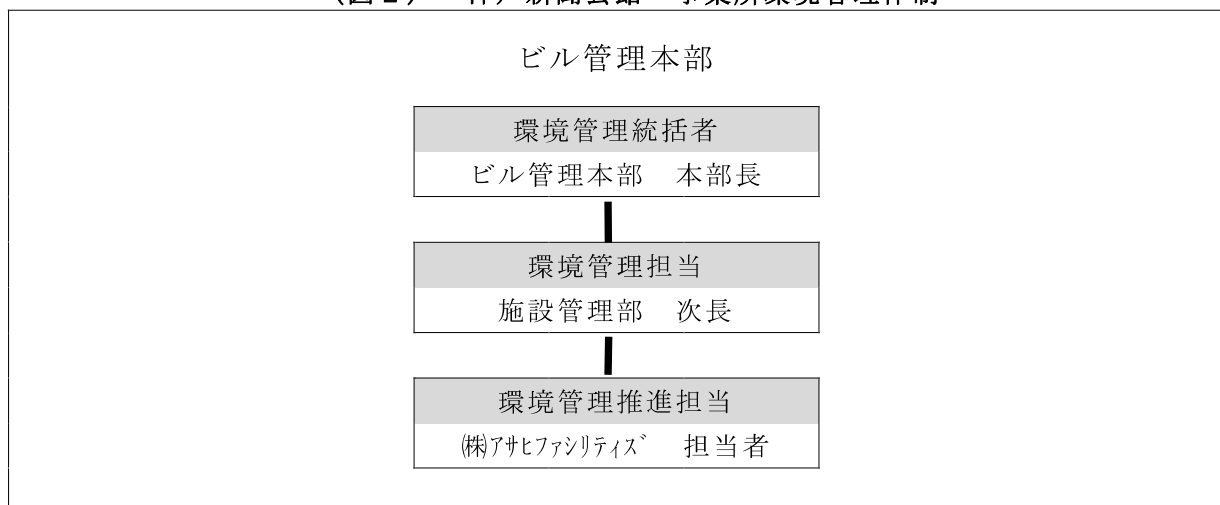
② 環境保全に関する組織の現況

当社における環境管理体制は図1のとおりです。また、事業所における環境管理体制は図2のとおりです。

(図1) 株式会社神戸新聞会館 環境管理体制



(図2) 神戸新聞会館 事業所環境管理体制



③重点取組目標・計画

【2019年度の重点目標・計画】

当社では事業活動の環境負荷低減を目指し、以下の重点課題に取り組んでいきます。

●省エネルギーの推進

●廃棄物の減量【産業廃棄物の減量計画】

<目標>事業者の過去5年間のエネルギーの使用に係る原単位が年平均1%以上の改善。

<取り組み内容>

内容	該当する工場等	実施時期	エネルギーの使用 期待効果
空調用冷水の設定温度を見直すことにより熱源の電力量、ガス使用量を削減。 対象設備：ターボ冷凍機、ガス吸収式冷温水器	ミント神戸 (神戸新聞会館ビル)	平成21年～	15k1/年
照明点灯時間の見直しによる電力量削減。 対象設備：共用部通路照明	ミント神戸 (神戸新聞会館ビル)	平成21年～	8k1/年
LED照明器具への更新。 対象設備：共用部通路照明	ミント神戸 (神戸新聞会館ビル)	平成25年～	11k1/年
LED照明器具への更新。 対象設備：オフィステナント	ミント神戸 (神戸新聞会館ビル)	令和元年～	

省エネ法の施工に合わせて、熱源・空調・照明の運用管理を見直しソフト面での省エネに取り組んできましたが、エネルギー消費量が横ばいになってきています。

更なる省エネを進めるためにも、現状の運用方法をそのまま継続する事に加えハード面での省エネ計画を推進していきます。特に照明器具に関してはLED化を推進しています。ビル館内ほぼ照明器具のLED化が終わります。更なる省エネ活動を推進していきます。